

日本地方自治研究学会

第 35 回全国大会プログラム

統一テーマ

「地域の存亡リスクと地方自治」

2018 年 9 月 22 日（土）～23 日（日）

国立大学法人 室蘭工業大学

会場：9 月 22 日（土）北農健保会館（札幌市中央区北 4 条西）

9 月 23 日（日）北海学園大学豊平キャンパス

（札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号）

第1日目 9月22日(土)

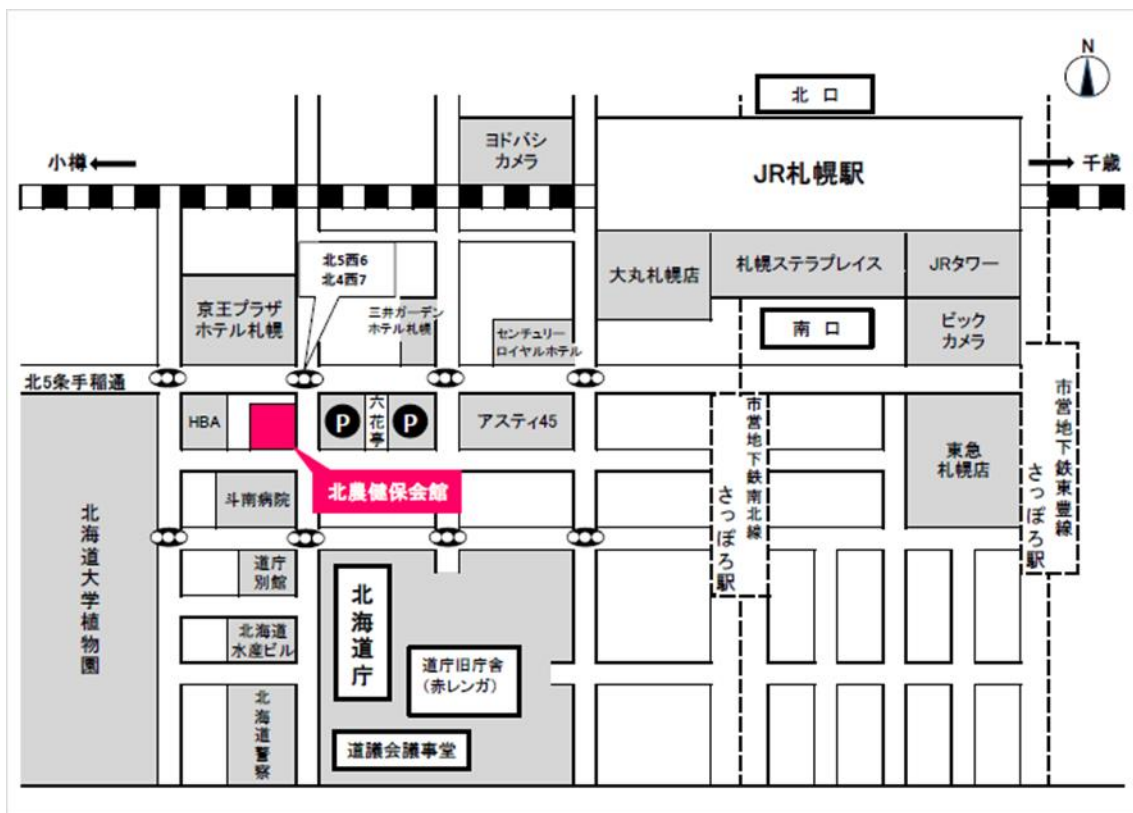
(13:30~15:00 理事会)

15:10~16:00 会員総会

(13:30~15:00 理事会)

会場：北農健保会館（札幌市中央区北4条西） 「芭蕉」

【受付】 13:00 ~ 「芭蕉」前廊下



第2日目 9月23日（日）

【受付】 8:40 ~ 7号館1階 ロビー

第1会場（4階・D40教室）研究部会セッション1 「地域経済とふるさと納税制度」（2016-2018年）

座長：伊東 達夫（和光大学）

9:10 ~ 10:10	テーマ ふるさと納税に関するアンケート調査 報告者 安田 信之助（城西大学） 小山 修平（公認会計士）
	テーマ ふるさと納税に関する租税原則からの検討 報告者 小山 修平（公認会計士）
	テーマ 大網白里市の課題とふるさと納税制度 報告者 渡辺 修朗（城西国際大学）
	テーマ 地域経済とふるさと納税制度 —北海道夕張市の再生戦略— 報告者 李 熙錫（城西大学）

（報告時間45分、質疑等15分）

第2会場（4階・D41教室）研究部会セッション2 「PBLを用いたよそ者・若者と描く持続可能な地域デザイン」（2016-2018年）

座長：小西 秀樹（関西大学）

9:10 ~ 10:10	テーマ “よそ者・若者”と描く持続可能な地域デザイン —京都府南山城村におけるPBLが生み出したもの、生み出せなかったもの— 報告者 田中 優（大阪国際大学）
	テーマ よそ者・若者と地域に共創された地域デザイン 師弟同行型PBLの事例 報告者 村山 史世（麻布大学）
	テーマ “よそ者・若者”と描く持続可能な地域デザイン —PBL「休耕地活用プロジェクト」が生み出したもの、生み出せなかったもの— 報告者 石井 雅章（神田外語大学）
	テーマ PBLと地域・学生の価値創出 -複雑な課題に向き合う学際的な学習環境の形成を通して- 報告者 畑 正夫（兵庫県立大学）

（報告時間45分、質疑等15分）

第3会場（4階・D42教室）研究部会セッション3

「次世代型住民参加に必要な組織とマネジメント」（2017-2019年）

座長：奥 和義（関西大学）

9:10 ~ 10:10	<p>テーマ 次世代型住民参加概念の考察：住民参加組織の編 制と戦略マネジメント</p> <p>報告者 初谷 勇（大阪商業大学）</p> <p>テーマ 空き家利活用施策の展開と次世代型住民参加の 基盤づくり</p> <p>報告者 明石 照久（長島町役場・熊本県立大学）</p>
--------------	--

（報告時間45分、質疑等15分）

第1会場（4階・D40教室）自由論題セッション1

座長：千葉 貴律（明治大学）

第1報告 10:20 ~ 11:00	<p>テーマ 固定資産台帳の活用可能性に関する一考察</p> <p>報告者 吉本 理沙（愛知大学）</p> <p>討論者 佐藤 亨（日本生産性本部）</p>
第2報告 11:05 ~ 11:45	<p>テーマ 地方自治体の財務書類の利活用について ~最 近の基金積立金の問題に関連して~</p> <p>報告者 兼村 高文（明治大学）</p> <p>討論者 大森 明（横浜国立大学）</p>
第3報告 11:50 ~ 12:30	<p>テーマ 地方公会計制度の位置づけと導入の効果、今後の 役立ち ~日本公認会計士協会 公会計委員会 地方公会計・監査検討専門部会 地方公会計グル ープにおける検討状況~</p> <p>報告者 中川 美雪（公認会計士中川美雪）</p> <p>討論者 石田 晴美（文教大学）</p>

（報告時間25分、討論10分、質疑5分）

第2会場（4階・D41教室）自由論題セッション2

座長：大島 誠（横浜市立大学）

第1報告 10:20 ~ 11:00	<p>テーマ 政策過程における外部専門家の知見の利用</p> <p>報告者 本田 正美（東京工業大学）</p> <p>梶川 裕矢（東京工業大学）</p> <p>討論者 妹尾 克敏（松山大学）</p>
第2報告 11:05 ~ 11:45	<p>テーマ 持続可能な地域づくりに向けた社会イノベーシ ョン・エコシステムの構築に向けて</p> <p>報告者 畑 正夫（兵庫県立大学）</p> <p>討論者 小川 長（尾道市立大学）</p>

（報告時間25分、討論10分、質疑5分）

第3会場（4階・D42教室） 自由論題セッション3

座長：山田 光矢（日本大学）

第1報告 10:20～11:00	テーマ 自治体の政策実行段階における公共意思決定の壁と解決手法～小中学校の統廃合を契機とした公共施設の再編を事例として～ 報告者 涌井 康宣（瀬戸市） 討論者 和田 尚久（東洋大学）
第2報告 11:05～11:45	テーマ 政策暖簾と政府の財政状態－離島航路政策の政策効果の検討－ 報告者 金子 邦博（公認会計士） 討論者 丸山 佳久（中央大学）

（報告時間25分、討論10分、質疑5分）

14 : 00 ~ 17 : 00 特別セッション（シンポジウム）（2階・D20教室）
司会：永井 真也（室蘭工業大学）

14 : 00 ~ 14 : 05 オープニング

開会挨拶 池宮城 秀正（日本地方自治研究学会会長・明治大学教授）

14 : 10 ~ 17 : 00 シンポジウム（一般公開）

テーマ 「地域の存亡リスクと地方自治」

14 : 10~15 : 00 基調講演 1 : 「地域存亡とまちづくり」

山 泰幸氏（関西学院大学災害復興制度研究所副所長）

15 : 00~15 : 30 基調講演 2 : 「地域存亡と自治体財政」

西村 宣彦氏（北海学園大学開発研究所長）

15 : 45~17 : 00 パネルディスカッション

植村 真美氏（赤平市議会議員・

北海道「炭鉄港」市町村議員連盟会長）

安斎 哲也氏（小樽市議会議員・

北海道若手市議会議員の会前会長・炭鉄港議員連盟副会長）

南川 達彦氏（室蘭市議会議員・

北海道「炭鉄港」市町村議員連盟副会長）

山 泰幸氏

西村 宣彦氏

司会 石田 和之（関西大学）

アクセス

北海学園大学豊平キャンパス 7号館（札幌市豊平区旭町4丁目1番40号）

地下鉄東豊線『さっぽろ駅』または『大通駅』で福住行きに乗車し、『学園前駅』下車。3番出口直結、地上に出て向かいの建物（道路側）が7号館です。

昼食

休み時間に最寄りの飲食店で済ませてください。『豊水すすきの駅』まで1駅、『大通』まで2駅で、そちらに行けば食事処はたくさんあります。

懇親会の会場も『豊水すすきの駅』まで1駅移動になりますので、地下鉄ドニチカ切符をお買い求めの上、移動されたほうが便利です。

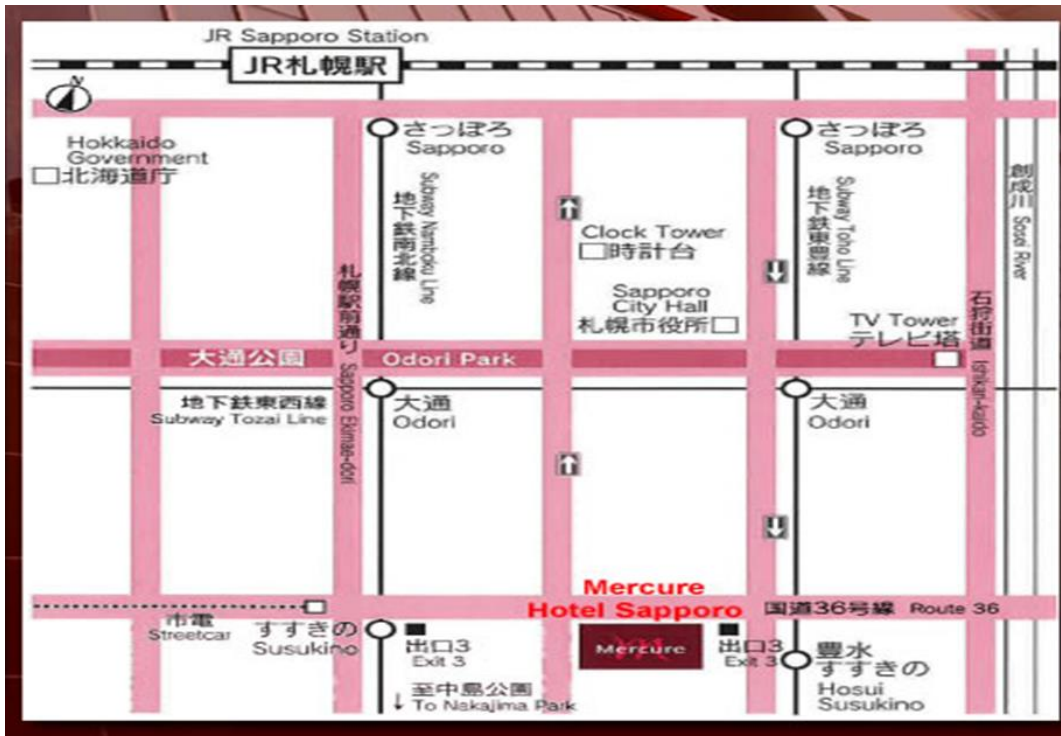
第2日目 9月23日（日）

18:00~20:00 懇親会

会場 メルキュールホテル札幌（札幌市中央区南4条西2丁目2-4） ☎011-513-1100

アクセス

地下鉄東豊線『学園前駅』→『豊水すすきの駅』（1駅目）へ。3番出口徒歩1分。
3番出口を出て交差点を左に、すぐ左手に見えます。



大会事務局

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27-1

国立大学法人室蘭工業大学 ひと文化系領域 永井真也

研究室直通 Tel0143-46-5831

事務室 fax0143-46-5801

snagai@mmm.muroran-it.ac.jp

日本地方自治研究学会 第35回全国大会

公認会計士の皆様へ

(CPE認定研修のご案内)

本大会では、下記のとおり、全プログラム(①研究部会報告、②自由論題セッション、③シンポジウム)が、日本公認会計士協会CPE認定研修とされています。

9月23日午前(10:20~12:30)の財政・公会計に係る②自由論題報告セッション(第1会場)をはじめ奮ってご参加ください。

なお、今大会では、各会場の都合上、学会会員以外の研修参加者の定員を会場ごとに定めさせていただきます。

つきましては、出席を希望される方は、9月20日までに、メール本文に下記の申込様式によりご記入いただいたものを、[申し込み先]のメールアドレスあてにお送りください。着信の先着順に受付番号を付して返信メールを差し上げます。

なお、各定員に達しましたら締め切らせていただきますのでご了承ください。

また、当日は、返信メールの写しをご持参のうえ、研修の時間帯：①9:10~(研究部会セッション)、②10:20~(自由論題報告セッション)、③14:15~(シンポジウム)のうち、最初に受講される時間帯の前に大会受付までお申し出ください。

(申込様式)

日本地方自治研究学会 第35回全国大会(認定研修会)出席申込書

※メール本文に転記のうえ、(1)~(3)すべてご記入ください。

(1)ご氏名 ()

(2)ご所属 ()

(3)出席希望プログラム

▶出席希望のプログラムについて、カッコ内に○をしてください。

プログラム①()、プログラム②()、プログラム③()

▶プログラム①と②については、会場定員の関係上、ご希望順に会場番号1、2、3をカッコ内に記入してください。

①9:10~10:10 研究部会報告セッション(定員:各会場とも40名)

・第1希望:第()会場

・第2希望:第()会場

・第3希望:第()会場

②10:20~12:30 自由論題報告セッション(定員:各会場とも40名)

・第1希望:第()会場

・第2希望:第()会場

・第3希望:第()会場

【申し込み先】

9月20日までに、大商大 初谷勇 E-mail: hatutani@daishodai.ac.jp あてお申し込みください。

日本公認会計士協会 C P E 認定研修

研修会：日本地方自治研究学会第 35 回全国大会

開催日 2018 年 9 月 23 日

参加料 一日 1,000 円

時間	内容	単位	研修 コード
① 9:10~10:10	第 1 会場 研究部会報告セッション 地域経済活性化とふるさと納税制度	1	6401
① 9:10~10:10	第 2 会場 研究部会報告セッション PBL を用いたよそ者・若者と描く持続可能な地域 デザイン	1	6401
① 9:10~10:10	第 3 会場 研究部会報告セッション 次世代型住民参加に必要な組織とマネジメント	1	6401
② 10:20~12:30	第 1 会場 自由論題報告セッション ・固定資産台帳の活用可能性に関する一考察 ・地方自治体の財務書類の利活用について～最近の基金積立金の問題に関連して～ ・地方公会計制度の位置づけと導入の効果、今後の役立ち～日本公認会計士協会 公会計委員会 地方公会計・監査検討専門部会 地方公会計グループにおける検討状況～	2	2109
② 10:20~11:45	第 2 会場 自由論題報告セッション ・政策過程における外部専門家の知見の利用 ・持続可能な地域づくりに向けた社会イノベーション・エコシステムの構築に向けて	1	6401
② 10:20~11:45	第 3 会場 自由論題報告セッション ・自治体の政策実行段階における公共意思決定の壁と解決手法～小中学校の統廃合を契機とした公共施設の再編を事例として～ ・政策暖簾と政府の財政状態－離島航路政策の政策効果の検討－	1	2109
③ 14:15~17:00	シンポジウム 地域の存亡リスクと地方自治	3	6401

日本地方自治研究学会 第35回全国大会

税理士の皆様へ

「日本税理士会連合会が後援する研修」のご案内

本大会では、全プログラム（①研究部会報告、②自由論題セッション、③シンポジウム）が、日本税理士会連合会が後援する研修に該当し、受講した税理士は研修の受講時間として算入されます。

9月23日午前（10:20～12:30）の財政・公会計に係る②自由論題報告セッション（第1会場）をはじめ奮ってご参加ください。

なお、今大会では、各会場の都合上、学会会員以外の研修参加者の定員を会場ごとに定めさせていただきます。

つきましては、出席を希望される方は、9月20日までに、メール本文に下記の申込様式によりご記入いただいたものを、[申し込み先]のメールアドレスあてにお送りください。

着信の先着順に受付番号を付した「出席申込受付票」を返信させていただきます。

なお、各室の定員に達しましたら締め切らせていただきますのでご了承ください。

また、当日は、「出席申込受付票」を印刷、ご持参のうえ、研修の時間帯：①9:10～（研究部会セッション）、②10:20～（自由論題報告セッション）、③14:15～（シンポジウム）のうち、最初に受講される時間帯の前に大会受付までお申し出ください。

（申込様式）

日本地方自治研究学会 第35回全国大会（研修）出席申込書

※メール本文に転記のうえ、(1)～(3)すべてご記入ください。

(1) ご氏名 ()

(2) ご所属 ()

(3) 出席希望プログラム（希望するプログラムに○をしてください。）

プログラム① ()、プログラム② ()、プログラム③ ()

プログラム①と②（希望順に会場番号1、2、3をカッコ内に記入してください。）

①9:10～10:10 研究部会報告セッション（定員：各会場とも40名）

・第1希望：第()会場

・第2希望：第()会場

・第3希望：第()会場

②10:20～12:30 自由論題報告セッション（定員：各会場とも40名）

・第1希望：第()会場

・第2希望：第()会場

・第3希望：第()会場

【申し込み先】

9月20日までに、大商大 初谷勇 E-mail: hatutani@daishodai.ac.jp あて

日本税理士会連合会が後援する研修

研修会：日本地方自治研究学会第35回全国大会

開催日 2018年9月23日

参加料 一日 1,000円

時間	内容	時間数
① 9:10~10:10	第1会場 研究部会報告セッション 地域経済活性化とふるさと納税制度	1
① 9:10~10:10	第2会場 研究部会報告セッション PBLを用いたよそ者・若者と描く持続可能な地域デザイン	1
① 9:10~10:10	第3会場 研究部会報告セッション 次世代型住民参加に必要な組織とマネジメント	1
② 10:20~12:30	第1会場 自由論題報告セッション ・固定資産台帳の活用可能性に関する一考察 ・地方自治体の財務書類の利活用について～最近の基金積立金の問題に関連して～ ・地方公会計制度の位置づけと導入の効果、今後の立ち～日本公認会計士協会公会計委員会地方公会計・監査検討専門部会地方公会計グループにおける検討状況～	2.5
② 10:20~11:45	第2会場 自由論題報告セッション ・政策過程における外部専門家の知見の利用 ・持続可能な地域づくりに向けた社会イノベーション・エコシステムの構築に向けて	1.5
② 10:20~11:45	第3会場 自由論題報告セッション ・自治体の政策実行段階における公共意思決定の壁と解決手法～小中学校の統廃合を契機とした公共施設の再編を事例として～ ・政策暖簾と政府の財政状態－離島航路政策の政策効果の検討－	1.5
③ 14:15~17:00	シンポジウム 地域の存亡リスクと地方自治	3